

平成29年度 横浜市世界を目指す若者応援事業

(個人留学による帰国報告)

●氏名

MSさん

●留学先

国/都市：米国/アイオワ州フォートマディソン

外国の高校：Fort Madison High School

●留学期間

平成29年8月9日～平成30年6月15日

●留学先での活動、留学で学んだこと

1. 交換留学スケジュール及び研修先について

交換留学スケジュール

2017年8月9日 成田空港出発、ウィスコンシン大学リッチランド・キャンパス着

～8月18日 YFU 主催の Culture and Language Camp に参加

8月18日 アイオワ州フォートマディソン到着

2018年6月15日 日本帰国

研修先について

アメリカ合衆国、アイオワ州、フォートマディソン

- ・アイオワ州南東の端、ミシシッピ川沿いの小さな町
- ・学校は一学年 200 人弱
- ・アイオワ州の印象は空がとにかく大きい
- ・気候は、夏はとても暑く、冬は雪が何度も降りました



・ホストファミリーはお父さん、お母さん、お姉ちゃん(大学 2 年生)、お兄ちゃん(大学 1 年生)、妹(同学年の高校 1 年生)の 5 人家族



(左) 到着後 8/21 に皆既日食を観察 (右) 家から徒歩 5 分の場所から撮ったミシシッピ川 9 月

2. 10 カ月間の主な活動

アメリカに到着してすぐ、ウィスコンシン大学リッチランド校で行われた YFU 主催の語学&カルチャーキャンプに参加しました。午前中は英語の基礎力を養うための授業、午後は米国での生活について実際に町に出て、買い物等、英語の実践力を養う実習や郊外活動を行いました。このキャンプは日本人のみの参加でしたが、留学生同士仲良くなり励ましかったり、又、ボランティアのアメリカ人大学生ととても仲良くなったり、別れが辛かったです。

8 月 18 日にホストファミリーのいるアイオワ州 Fort Madison に到着。学校の手続等をホストマザーと終え、翌週から新学期が始まりました。ホストシスターと同じ Sophomore (高 1) の学年に在籍しました。

・学業

学校の授業は全て選択式だったので、代数、英語、地学、心理学、ビジネス、スペイン語、アメリカ史、体育、音楽の授業を取りました。英語の授業は、読書の宿題や、作文を書く宿題が多く、一番苦労しました。中でも、詩の授業は、比喩や擬人法にアメリカ文化ならではのものが多々あり、理解が難しかったですが、先生方の支えもあり、いい学びとなりました。全ての授業で最高評価の A が取れたので努力が実り良かったです。

学校では全ての生徒に Chrome Pad が貸し出され、一年のシラバスを見ることができ、又、学校からの連絡や先生とのやり取り、学校行事の確認、出欠管理や成績表等、全てこのタブレットで出来るようになっていたことにとっても驚きました。

・課外活動

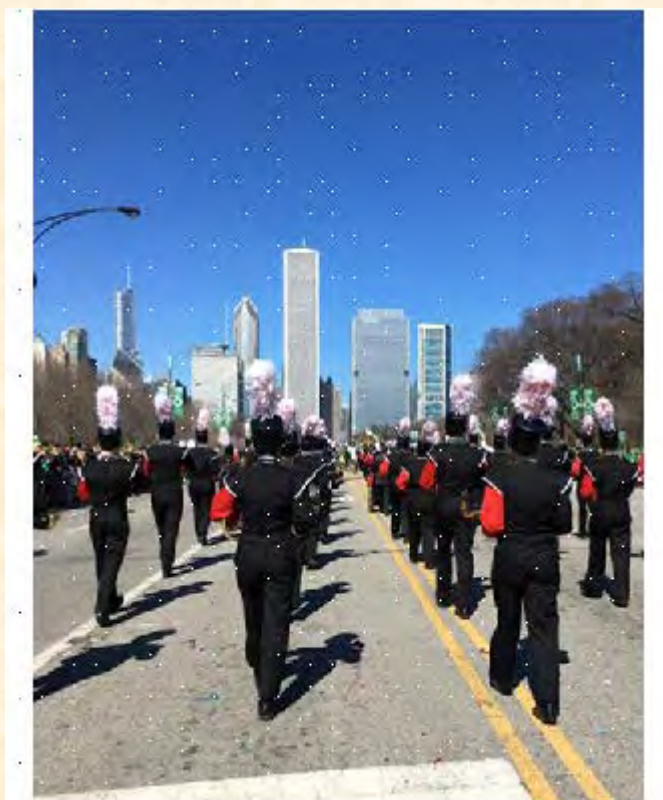
アメリカの高校はクラブ活動や課外活動がとても盛んでした。それぞれ大体 1 学期で完結するので (3 学期制)、様々な体験を積み、沢山の友人を作りたいと考えていた私は、滞在中、出来るだけ多くの活動に参加することにしました。ホストマザーの意見も参考に、学業と複数の活動を上手く両立できるように工夫しました。以下に紹介するのが、私が所

属していた課外活動です。

・マーチングバンド(到着～10月) -小学校で吹いていたアルトホルンを担当しました。マーチングバンドは今まで見たことも聞いたこともなかったので、魅力的で、留学生活の中でも楽しかった思い出の一つです。スクールカラーの赤と黒のユニフォームは格好よく、200人近い生徒が楽器を演奏しながら次々にフォーメーションを変えていくことに感銘を受けました。ホストシスターも在籍し、又、バンドには親切な人が多かったので友達が沢山でき、留学生活を始めるにあたりとても良いスタートを切ることができました。4月にはシカゴに St.Patrick's Day パレードに参加するために演奏旅行もありました。



マーチングバンドのパフォーマンスの前、ウォーミングアップの際に 10月



シカゴ St.Patrick's Day パレード



学校のグラウンドでのパフォーマンス

・クロスカントリー(到着～10月) -クロスカントリーとは陸上競技種目の一つで野原、丘陵地、森林などに設定された4～5kmのコースを走ってタイムを競う競技です。マーチングバンドと同様に、親切な人がとても多く、沢山の友達にクラブ以外の時も助けてもらいました。また、バーシティと呼ばれる学校の代表チームにも入ることが出来、楽しかったです。

・キークラブ(9月～11月) -ボランティアのクラブです。ハロウィンのイベントの手伝い、クリスマスの装飾の手伝いなどをしました。

・DECA(10月～帰国前) -クロスカントリー、バンドで出来た友達に勧められて入部しました。DECAとは高校生によるビジネスを学ぶ活動団体です。活動内容は、個々でビジネスの知識、ビジネス交渉のスキルについて学び、大会で他校の生徒とそのスキルを競うものです。私は、リージョナル(地域単位)大会でいい成績をとり、ステイト(州単位)の大会に勝ち進むことが出来ました。ステイト大会は、アイオワ州の首都、デモインで開催されました。アイオワ州全土からきた高校生達と話したり、ホテルにチームメイトと泊まったりと、とても楽しかったです。私は勝ち進むことは出来ませんでした。一部のメンバーはステイト大会で勝ち進み、ICDCと呼ばれる、アメリカ全国と世界各地から勝ち進んできた生徒たちの大会に参加する為、アトランタに行っていました。DECAの活動は個々でやるもののように聞こえますが、友達と一緒に勉強したり、懇親パーティーを開いたりする中で、チームのメンバーと仲良くなることができました。

・ドラマクラブ(10月中旬~11月中旬) - Into the Woods という、おとぎ話を組み合わせたお話しで、シンデレラのステップシスターを演じました。演劇は未経験でしたが、マーチングバンドの友達の勧めで入り、とても楽しく、良い経験となりました。

・ジャズバンド(11月~2月下旬) -ピアノを担当しました。ジャズというジャンルの音楽に触れるのは初めてでしたが、本場で聞くだけでなく、演奏もすることが出来、良い経験となりました。大会でいくつか賞もいただき、貴重な経験となりました。

・コンサートバンド(11月~5月下旬) -マーチングバンドと同様にアルトホルンを担当しました。二学期と三学期の間に地域のコンサートで十以上の曲を演奏しました。



・クワイヤー(11月~5月下旬) -日本でいう合唱団です。様々な曲を歌いましたが、中でもアメリカ国家を歌い、歌詞はもちろん、メロディーをアルトパートで学んだことが一番の思い出で、アメリカに来た留学生ならではの経験でした。



・バスケットボール(11月中旬～2月中旬) -未経験だったため、最初は苦勞が多かったですが、最終的にはチームのメンバーととても仲良くなり、バスケットボールにも親しめ、今では本当に所属して良かったと思っています。



バスケットボール。最後のホームゲームより。

・スピーチ(2月) -浴衣を着て、私が留学について考えることについてスピーチをしました。DECAと同様に、リージョナル大会(地域大会)を勝ち抜き、ステイト大会(州大会)に出場しました。留学について、日本について、現地の人に知ってもらえる良い機会になりました。

・テニス(3月中旬～帰国前) -私が日本でテニス部に所属していることもあり、一番楽しいシーズンでした。チームとしては惜しくもステイト大会(州大会)に出場することは出来ませんでした。友達と組んだダブルスではステイト大会に進出し、アイオワ州で8位のダブルスペアとなることが出来ました。ダブルスでペアを組んだ友達とはもちろんのこと、その他のチームのメンバー、コーチと絆がとても深まり、別れがつかないです。

その他

・ホストファミリーとの時間

ホストファミリーは私の日本の家族とは正反対の、スポーツがあまり好きでないインドア派の家族だったので、はじめの頃はお互い戸惑うことが多かったように感じます。けれども、ホストファザーとマザーは健康的な食事を好んでいたため、食事に関しては、思ったほど苦勞はありませんでした。同学年のホストシスターとは同じ学校だったので、日本を出発する前からSNSで連絡を取り合い、到着後も沢山助けて貰い、彼女のお陰で学校生活にスムーズになじむことが出来ました。年上のホストシスターとブラザーは既に家を出て大学の寮に入っていたため、あまり話す機会は十分ではありませんでしたが、家族旅行の際にたくさんの思い出と一緒に作る事が出来ました。ホストファミリーには、11月のサンクスギビングの時にテキサス州フォートワースにホストマザーの兄弟の家をたずねに、クリスマスにはサウスキャロライナのホストマザー、ファザー、両方の両親をたず

ねに、そして、5月のメモリアルデーの休日にオハイオ州のシーダーポイントに連れて行ってもらいました。全て車で行ったのですが、特にテキサスへは9時間、10時間ほどかかり、アメリカの広さを身にしみて感じさせられた旅となりました。

・YFU の留学生との交流

アイオワ州の同じ地域にステイしているほかの国からの留学生と交流する機会が多々ありました。スイス、デンマーク、タイ、メキシコなど出身国は様々で、互いに自分の国について教えあったり、留学生活での悩み、エピソードなどを交換できたりと、毎回とても楽しく充実した時間を過ごせました。遊園地に行ったり、アイオワ州の州都（デモイン）に行ったり、スキーに行ったりと本当に楽しかったです。数年後、みなで、それぞれの国にたずねあおうという話にもなっており、今からとても楽しみです。また、4月上旬に行った YFU 主催のニューヨークトリップでは、また新たに他の国からの友達に出会うことが出来ました。中国人とインドネシア人のこと同室になり、互いの言語や文化を教えあい、とても楽しい時間となりました。また、今回留学に行ったことで、YFU で留学している日本各地の高校生とも友達になることが出来たので、とても嬉しく思います。



3. 研修先で学んだ事

➤ 自分が恵まれた環境にいるということ

日本の家族、ホストファミリー、日本の友達、アメリカの友達など沢山の人の支えられている事に気付きました。日本の家族においては、普段の何気ない、当たり前だと思っていた支えのありがたみを強く感じました。例えば、栄養バランスの良い食事を毎食作ってくれること、自分のいちばんの理解者で常に最適な助言をくれることなど。アメリカで体調を崩した時はその事を特に思い知らされました。日本の友達においては、アメリカに出発する前に沢山の人の応援してもらい、その大切さを身にしみて感じました。また、アメリカで会った人は皆親切で力になって下さりました。各教科の先生方はもちろん、クラブの先生、そして友達の両親まで足りていない英語力を支えてくださったり、私が楽しく過ごすために力を貸して下さったりしました。

➤ 自分について

自分の強み、弱み、良いところ、悪いところを含め、自分の興味、健康、メンタルの維持方法について良く認識出来ました。全く違う環境に1人身を置き、自力で過ごして行く中、自己管理の重要さを感じました。それは、年間を通しての課題でありましたが、今は留学前よりも圧倒的に自立していると思います。

➤ どんな人生を送りたいか

自由の国アメリカで、自己を持つこと、他と違う事をする大切さや魅力に気付きました。友達の大半が、服装、自由時間の過ごし方、音楽の趣味などを含め、自分の世界、生き方を持っていて、それが個々で大きく異なっているように感じたことから、自分の興味のある事、意欲のある事を持ち、それをやりこむことの大切さを感じました。同時に日本社会で目立つ、常に周りと同じ選択をする人をアメリカで見るとは希に感じました。また、多数の友達が時事問題に対し意見を持っていて、それを日常的に議論を交わしていることも印象的でした。日本で勉強と部活動で忙しい生活のみを過ごしてきたなかで、本当の人生を楽しみ、実りのあるものにする事とは何か考えさせられました。やるべきことはやり、自分の好きなことをやる、興味のあるものを増やすということをしていきたいです。

➤ 日本について

海外の視点から日本の歴史、教育、食、文化を見て、考えさせられること、得る事は多かったです。一方で、私の日本についての知識の不十分さも感じさせられました。また、アメリカ史の授業で第二次世界大戦をアメリカ側の視点から、アメリカ人の友達と学んだことは貴重な体験となりました。日本による韓国や中国占領について多く学んだり、真珠湾攻撃の映画を見たりと日本の非について日本で学んだ時よりも多く学んだように感じました。一方で、普段授業に興味のないクラスメートも私の存在が故に興味を持ち、私に質問したり、広島、長崎のことをより多く学んだりしていたことはとても嬉しかったです。複雑な気持ちになることも多少ありましたが、クラスメートは友達として普段通りに接してくれて、嬉しかったと同時に戦争の無意味さも目に染みて感じ良い経験になりました。

➤ 挑戦することの価値

アメリカで初めて挑戦したことは、ドラマ、バスケットボール、ビジネス、クワイヤー、マーチングバンド、ジャズ、スピーチで、感想は楽しかったということと、やって良かったということです。もちろん苦労も沢山ありましたが、私の留学のテーマでもあった「挑戦を最大限する」事で、未知の世界を知ることが出来、有意義で充実した10ヶ月になりました。



Fort Madison High School と私

4. 将来への活かし方

➤ ビジネスについて学びたい

DECA（ビジネス団体）に入って、ビジネスに強い興味を持ちました。高校生が主体的に運営、企画し、実行することで成り立っている、まさにビジネスそのもののその姿が、とても魅力的だったからです。元から、自分で企画し、運営することが好きなのですが、更に、自分で何かを新しく開拓して行く楽しさに気付いたため、これから、社会でそうした私の好きなことを生かして、人の役に立っていかれたらと思います。

➤ スペイン語を学びたい

現地の高校でスペイン語の授業を取ることで、留学しているるとつい忘れてしまう、言語、文化の違いの面白さに改めて気付かされました。帰国後、早速スペイン語検定を受験しました。よりスペイン語の学びを深め、実際に使えるようになりたいと考えています。

➤ 弱い立場の人の役に立つ仕事につきたい。

私が今まで生きてきた世界、視野の狭さ、そして、今まで自分が生活してきた恵まれた環境のありがたさに気付かされました。自分の恵まれた環境については、いい教育を受けさせてもらえることなどの経済面だけでなく、いつでも支えてくれる家族や友達がいることの精神面においてです。抽象的ではありますが、様々な問題で苦労している人たちの力になれる仕事を出来たらと考えています。

➤ 家族、身近な人との時間を大切に過ごしたい

➤ 更に新しいことに挑戦していきたい

5. 支援していただいた方へのお礼

支援してくださった方々へ

アメリカで過ごすことのできた 10 ヶ月間は私のまだ短い人生の中で最も濃いものとなりました。上記の通り、数多くの挑戦から学んだことは計り知れません。このような機会を私に与えてくださった皆様には感謝の気持ちで一杯です。この貴重な経験で得たものを最大限に生かし、世界をより良くする為の手助けが少しでも出来るよう、しっかりと学び、日々精進していきたいと考えております。本当にありがとうございました。